

令和元年度【児童発達支援】自己評価結果及び改善点(事業者)

国立病院機構七尾病院

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用定員とスペースは適切であると考え る。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準上適切に配置されている。職員間 で協力体制も築けている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化さ れた環境になっているか。また、障がいの 特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮が適切にな されている	○			事業所内はバリアフリー化されている。室 内も、子どもが安全に過ごせるよう配慮 している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動 に合わせた空間となっている	○			使用前後に、環境整備を行っている。子 どもが過ごしやすい空間を心がけていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	○			職員間で意見を出し合い業務を行って いる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に 対して事業所の評価を実施するとともに、 保護者等の意向等を把握し、業務改善に つなげている	○			アンケートを実施し、意向を把握してい る。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評 価表の結果を踏まえ、事業所として自己評 価を行うとともに、その結果による支援の 質の評価及び改善の内容を、事業所の会 報やホームページ等で公開している	○			自己評価を行い、ホームページで公表し ている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果 を業務改善につなげている		○		行政機関等実地指導をしていただき、そ の結果を受けて業務改善に努めていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の 機会を確保している	○			院内または外部の研修に積極的に参加 していく。
適切な支 援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 で、児童発達支援計画を作成している	○			保護者や子どもと面談を行い、課題や 要望を把握した上で計画を作成してい る。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使 用している	○			アセスメントシートを用いている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガ イドラインの「児童発達支援の提供すべき 支援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支 援内容から子どもの支援に必要な項目が 適切に選択され、その上で、具体的な支援 内容が設定されている	○			子どもの状態や、個別性に応じた支援 内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ている	○			計画に沿って支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行って いる	○			関係する職員で話し合い活動を計画し ている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			利用者一人一人に合わせ活動内容を工夫している。今後も内容を工夫しながら実施していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			子どもの個性や状況に応じた計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			実施している。今後も継続する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			実施している。今後も継続する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎回記録の入力をしている。
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングを行い、6ヶ月に1回計画の見直しを行うことができています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			実施できている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて外部の関係機関と連携を図るようにしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			○	まだ保育所等との支援内容の情報共有はできていない。今後連携できるとよい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			○	今後、支援内容の情報共有や連携等行っていけるとよい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後も積極的に研修を受けていく。現在は他事業所との連携はまだできていない。今後行っていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	現在は交流する機会がないため検討が必要。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			担当者が会議等に参加している。今後も会議等に参加し地域の現状を把握していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			毎回、保護者と話をする時間を設けている。今後も継続する。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			療育プログラムの中に保護者と話し合う時間を設けている。その際に、相談に応じたりアドバイスをするようにしている。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明を行っている。変更があった場合等はその都度説明を行うようにしている。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			計画の内容について丁寧にできるだけわかりやすい説明を心がけ、同意を得ている。
保護者への説明責任等	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			療育プログラムの中に保護者と話し合う時間を設け、子育ての悩み等相談を聞くようにしている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	保護者会の開催は行っていない。今後検討が必要。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			保護者から相談があればすぐに対応し、話を伺っている。また苦情受付窓口も設置している。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○	会報は発行できていないが、活動予定については、保護者に事前に説明を行っている。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○			掲示物や写真の掲載等個人情報に係る書類等については、常に保護者の確認を取っている。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			個々の利用者の特徴を把握し、かかわると共に、保護者とはできるだけ話しやすい対応や環境を作るなど、配慮している。
非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			○	各種マニュアルは整備されている。今後も家族に周知できるよう対応を工夫していく。
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			○	施設全体としては、避難訓練等行っているが、通所事業所に関しての訓練はあまり行われていない。今後訓練の計画やマニュアルの見直し等行えるようにする。
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			活動前には健康状態を確認している。
	43 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			毎年、職員全員を対象に研修を行っている。
	44 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			身体拘束に該当する児童はいない。身体拘束が必要な場合は手順に従って行うようにする。